

写真投稿を撮ってしよう!

私が見つけた水マス

鶴見川流域にある水マスを発見して写真に撮ってみましょう。
知ること、見ることも水マスの推進につながります。



カエル

撮影：渡利 博氏

湧水のある池には春、カエルの仲間たちが産卵にやってきます。

(平常時水マネジメント) (自然環境マネジメント)

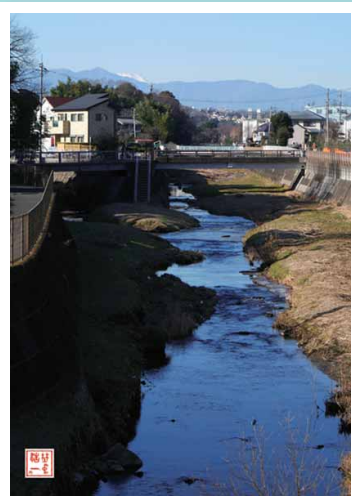
該当する水マスの例を過去の作品などから紹介
(作品タイトル 撮影者 場所と該当する各マネジメント)



晩秋の源流を歩く

撮影：ひげコバ氏

源流保水の森は降った雨が、土に染みこみ下流を水害から守ります(洪水時水マネジメント)。地中の水はやがて湧水となり川の水量を増やし水質を向上させます(平常時水マネジメント)。周囲の森は流域の生物多様性を充実させます(自然環境マネジメント)。



富士山と翡翠

撮影：野中 浩一氏

源流丸山橋付近では洪水を防ぐための新河道の整備(洪水時水マネジメント)と共に、親水施設の整備(水辺ふれあいマネジメント)、旧河川を活かし、生きものに優しい川づくり、良好な河畔林の保全(自然環境マネジメント)が行われています。



サマーフェスティバルのクルーズ

撮影：Yuji 氏

佃野防災拠点には地震や火災時に避難場所や緊急物資を運ぶ輸送路として整備されました(震災・火災時マネジメント)。普段は市民の憩いの場所やイベントの会場としても利用されています(水辺ふれあいマネジメント)。

写真募集要項

○投稿者名：本名、ニックネームどちらでも可 ○連絡先：お名前、住所、電話、Eメール

○投稿写真のタイトルと投稿写真の撮影場所 ○〆切：2019年1月31日(木) 2月6日(水)より展示開始

○提出方法 1) 事務局 Eメール(office@tr-net.gr.jp) 2) 鶴見川流域センター受付へデジタルデータを提出

※写真データのファイル形式は JPG 形式で

※データ容量：1写真あたり 5MB まで(A4 または A3 で写真を印刷します)

※人気投票があります。 ※人物が映っている作品は、本人の了解を得ていることが条件となります。

※応募作品の著作権は主催者に帰属します。

※入賞作品は鶴見川流域の PR などに使用されることがあります。

人気投票が
あります

主催：NPO 法人鶴見川流域ネットワークング 共催：地域防災施設鶴見川流域センター 協力：連携鶴見川流域ネットワークング



流域の素材で お正月のかざりを作ろう!

要申込み
定員になり
次第締切り

日時：2018年12月24日(月・祝)

① 11:30 ~ 12:30

② 14:00 ~ 15:00

友の会
2P

場 所：地域防災施設鶴見川流域センター

対 象：小学生～ファミリー

※小学生は保護者同伴(大人1名につき子ども1名)

定 員：各10名

参加費：工作実施者1名につき300円(材料代)

同伴者は無料

主催：網島バリケン島プロジェクト 後援：地域防災施設 鶴見川流域センター